

平成23年度 OBラン報告書

平成23年 10月29日

平成16年度入学 石井 靖之

平成23年10月15日、16日に、滋賀県高島市マキノ町周辺において、本年度のOBランを開催致しました。幹事学年は、平成16年度入学です。以下、OBランの報告を致します。

◇開催地

滋賀県高島市マキノ町

◇開催日時

平成23年10月15日（土）～16（日）

◇参加者（計48名）

入学年度	お名前(敬称略)
S55	山口 泰男
H05	植松 一夫
H06	岡本 辰志、岡本 葵
H08	市村 大治郎
H09	吉倉 英貴、斎藤 誠
H10	山田 宏明
H11	木田 寛之
H12	小西 剛史、森 大樹
H13	入船 傑、佐藤 耕平、※2佐野 祥一、村瀬 智史
H14	※1今岡 健悟、岡市 陽子、小田 功、高田 和雅、藪野 由佳
H15	青木 志乃、上野 勝之、柿本 拓哉、片桐 卓也、久留島 泰彦、 瀬戸 文久、高田 絵里加、由井 善博
H16	青山 めぐみ、石井 靖之、岩橋 亮平、岩根 広幸、川添 翼 北川 雄真、木田 真理子、種田 敦、津川 翔 西澤 麻衣子、古用 晋一郎、宮本 賢吾、森口 陽介、柳原 裕也
H17	阪上 雄貴、長谷川 浩史、山崎 高生
H18	小島 直也
H20	柳 敏樹
H41	木田 岳志

米1 今岡さんは、2日目のみの参加。

※2 佐野さんは、2日目の朝に離脱。

◇宿泊地

名前 民宿 はる

住所 滋賀県高島市今津町日置前 2881-2

TEL 0740-22-0691

URL <http://www15.plala.or.jp/haru-42413/>

◇実行委員 合計 14名

実長	石井靖之
副実長	黒岩瑛冴
連絡	岩橋亮平
会計	青山めぐみ
レクリエーション	岩根宏幸、北川雄真、古用晋一郎、柳原裕也、
宿係	津川翔
貸出自転車手配	森口陽介
自転車メカニック	森口陽介
写真撮影	宮本賢吾
コース設定・地図作成	石井靖之、黒岩瑛冴、宮本賢吾
Web	北川雄真
自転車サポート	岩橋亮平、黒岩瑛冴
送迎、車サポート	宮本賢吾
買い出し担当（懇親会）	川添翼
昼食係	西澤麻衣子、種田敦
保険	種田敦

◇ 日程

・1日目 10月15日（雨）

時間	スケジュール
～17:00	民宿 はるに集合
17:10	OB総会
18:00	夕食
20:30	懇親会（花束贈呈・自己紹介）
23:30	全寮歌
0:00	一時解散

本年度のOBランも例年通り、OB総会と共に幕を開けました。
今年、執行部の代替わりの年。副幹事長である市村さんの挨拶、新幹事長である佐野さんの挨拶がなされ、満場一致で新執行部へバトンが渡されました。

総会後は夕食。夕食開始してしばらく経ってから、佐野さんのご指示により、パンパンをする事に。

「いっと、にっと・・・ご飯頂きます！」

入学年度の壁が一瞬でなくなるような、不思議な一体感がありました。

夕食は、夏の幹事会での村瀬さんの希望もあり、希望者に缶ビールをお出ししました。

夕食のメニューがすきやきだった事もあり、にぎやかな夕食になりました。

20時30分より、懇親会の始まり。

旧幹事長である菰田さんのメッセージと共に、市村さんの音頭により、開戦しました。

開戦後しばらくして、新執行部から旧執行部へ、花束の贈呈。

新執行部である佐野さん、入船さん、村瀬さんから、旧執行部である市村さん、植松さん、吉倉さんへ花束が渡されました。

その後、各学年の自己紹介へ。

木田さんの息子さん（岳志君）の自己紹介の際には、見事ハイハイ競争で岳志君が優勝した事が紹介され、

同じ剛史である小西さんと、岳志君の父である木田さんが、杯杯競争を行い、大変な盛り上がりを見せました。
 最後は、全寮歌。一旦は、形式的に締められましたが、その後、長い夜が始まったのは、言うまでもありません。

・2日目 10月16日(晴れ)

時間	スケジュール
7:00	朝食
8:30	コース発表
9:00	民宿 はるを出発
12:00	ピラデスト今津到着
13:30	解散

心配していた雨もあがり、絶好のサイクリング日和。
 各チェックポイントで、レクをこなしてもらいつつ、ゴール地点ピラデスト今津を目指してもらいました。

- 第1チェックポイント※ 各G選んでもらった器にて器リレー
- 第2チェックポイント H16年入学古用君と湖面への石切回数対決
(勝者はチーズゲット)

第3チェックポイント ピラデスト今津TT

※マラソン大会実施のため、器リレーは行わず。器のみ各Gで選択

ゴール地点では、満足感あふれている人、疲れの表情を見せながらも、なんとか最後まで走り切る人、自転車には乗らず走ってこられる人(H5年入学 植松さん)、少し怒りを覚えている人……。人によって様々なゴールをされていました。

頂上に到着した人から順次、第1チェックポイントで選んだ器でカレーを食べて頂きました。どんぶりで食べる人、カレー皿で食べる人、コップで食べる人……。
 ルー3鍋分、40合の米を炊きましたが、全て完食。

昼食後、ピラデスト今津TTの結果発表。

男子の部は、小島君が優勝。さすが片道20キロの道を通学してるだけの事があります。
 女子の部は、岡本さんの奥様が優勝。さすが某自転車メーカー勤務のだんな様の奥様です。
 7キロ、400アップというきついコースでしたが、無事全員完走する事ができました。

男子部		女子の部	
順位	お名前(敬称略)	順位	お名前(敬称略)
1	小島直也	1	岡本葵
2	由井善博	2	青木志乃
3	瀬戸文久	3	藪野由佳
4	木田寛之	4	岡市洋子
5	市村大治郎		

最後は、琵琶湖をバックに記念撮影。

10月中旬にしては温かい気候の中で、平成23年度OBランも賑やかに幕を下ろしました。

◇会計報告

	収入	支出	内訳
前年の繰越金	46,536		
参加費	618,000		13,000×47人分+7,000×1人分(2日目のみ参加)
レンタサイクル代	10,000		1,000×10人分
宿泊費		290,690	6,000円×48人分、忘れ物送付料等
懇親会		91,320	酒代、おつまみ代、ブルーシート代等
下見代		147,357	ガソリン代、高速代等
レク		10,479	ガソリン代、スポーツドリンク代等
雨対策		4,200	施設当日キャンセル料
走行時備品等		38,334	レンタカー、チャイルドシートレンタル料等
炊きだし		42,309	カレー材料費、施設利用費、ブルーシート代等
国内旅行保険		7,350	140円×50人分、振込手数料等
来年度繰越金		42,497	
総計	674,536	674,536	

会計 青山 めぐみ

◇幹事メンバーの感想

【青山めぐみ】

私はOBランで裏方として、CP1で確認、広場までのカレー運びなどをしていた。

作業の合間、ふと見ると、ゴール後丘を上ってくるOB・OGさん達はみな達成感を得て

さわやかな表情だった。コースは例年よりきついため、誰か脱落するだろうと思っていた私は

ずいぶん驚いたが、同時にうれしかった。力強く上ってくる姿はみなさんまだまだ現役で、ちゃり部にいた頃から、ちっとも変わっていないようだった。ちなみに私もその中の一人である。

現役時代と心だけは変わっていないな、とOBさん達と2日間遊んで思った。

【石井靖之】

ちゃり部でイベント事をする時、周りの人の支えを強く感じます。

今回のOBランもそうでした。貴重な時間を使って参加された方、まだ1歳に満たない子を連れて

参加された方、お腹に新しい命を抱えて参加された方を始め、

無理なお願いを聞いてくれた宿の方、いつも協力的な同回に感謝しております。

正直、実長としては至らない部分しかありませんでしたが、本番当日楽しそうにされている皆さんや、頑張っている同回の姿に助けられました。

大学を卒業されて別々の道には進まれています、ちゃり部OBの皆さんと共有する時間を

大切にしていきたいと感じました。これからも阪大ちゃり部OBを盛り上げる事に、

ささやかながら協力させて頂きたいと思っております。

最後に、本年度のOBランに関わられた方へ感謝を込めて。ありがとうございました。

【岩橋亮平】

本年度のOBランは、幹事学年にとってとても"落ち着ける"行事になったと感じています。

サイクリング部入部から現在までお世話になった(時にはお世話した)

方々と一晩を過ごし、クラブ時代の思い出、近況、世間話等の様々な話題で盛り上がりました。

また、仕事後(翌日早朝!)に駆けつけてくださった方・ご家族と共に参加してくださった方もいたことで、生活環境が変わっても昔と変わらぬ付き合いができることを実感し嬉しく思いました。

幹事一同が社会人として忙しい毎日を送っているため、準備不足等至らぬ点多々ありましたが、それらを大らかに受け止め、OBランを盛り上げて頂いた参加者に感謝しております。

最後に、木田さん Jr.こと岳志君の成長(酒が飲める程度まで)を心待ちにしています。

タケシをもってタケシを制す日はいつになることやら…

【岩根宏幸】

変わったなーってのがまず一つ。母になってたりとか意外としっかりしてたりとか。イケメンになってたりとか。変わらないなーってのがもう一つ。打ち合わせの隅で関係ないことひそひそ喋ったりとかみんなでつくるカレーの匂いとか。失言っぷりとか。

そういうのをこれからも感じていけたらと思います。

実長、副実長はお疲れ様でした。

【川添翼】

今回のOBランが初参加でOBランが一体どんなイベントなのかイメージができておらず、主幹としてどう行動してよいのか分からないので正直不安なところがありました。

しかし、実長の石井と副実長の黒岩を中心に当日までの準備、当日の全員の行動などしっかり指示をしてもらえたのでやりきることができたと思います。

私はOBランの下見など日程があわずあまり参加できていなかったのが当日はしっかりと仕事をさせてもらおうと思っていました。

この二日間は久しぶりに同回で力を合わせて何かを作り上げるということができたので良い思い出になりました。

【北川雄真】

みんな集まる機会はなかなか無いので、そこがまず良かったです(^^)

準備に関しては、実長と副実長が頑張る姿に周りが引っ張られてた気がします。

特にこの2人には感謝したい気持ちです。

Webページに関しては、関東で1人楽しんで作れました。Skypeでみんなの意見を聞きながら改良していくと、どんどんいいページができていったのは面白い体験でした。

【種田敦】

トラブルもなく、参加者に昼食を楽しんでもらえてよかった（^^）

【津川翔】

準備も含めて、本当に楽しい **OB** ランでした。参加者のみなさん、そして一緒に準備をしてきた同期に感謝です。こんな二日酔いになるほど飲んだのは、最近では、去年の **OB** ランと米沢会くらいです。

【西澤麻衣子】

直前にどたばたしてしまいましたが、無事天気にも恵まれ、全員完走、お昼も完食いただき、非常に嬉しい限りです。美味しかったと言ってもらえて、昼食係を頑張った甲斐がありました！いろいろ助けてくれた同期のみんな&参加して下さったみなさま、本当にありがとうございました！！

【古用晋一郎】

Ob ラン幹事学年を経験して、学生時代の研究である（自律）分散システムみたいだなと思いました。各自がそれぞれの役割に応じて動くことで、誰も全体全てを把握している訳ではないのに、全体の運営がなされるという点で。

そんな中でやはり課題になるのが、各々の間の通信でした。

全ての状況を全員で共有できるわけはありませんが、判断のためにある程度のやりとりは必要なので。情報共有手段として今回主に **ML** を用いましたが、**SoftBank** が圏外で配信時間に差が出たり、メールフィルターで弾かれたケースもあったようです。

また、急を要する連絡は電話で行ったり、多数が把握していることは **ML** を流さなかったりしたので、一部の人と同期が取れなかったのが課題かなと思いました。

（中には、食事係のようにランの状況が分からずフラストレーションが溜まった人もいたようですが、それでも全体としては大きな問題なく運営できていたと思います。）

もう一つの課題として、いくら分散システムとはいえ統率を取るために判断を下す集中型の役割も必要となります。今回の **OB** ランでは、その役割がちょっと副実長に偏りすぎたかなと思います。

自分で出来る仕事でも、優先度に応じて敢えて他人に任せること、周囲はフォローシップを発揮する事が大切かなと思いました。仕事と同じですね。

最後に、今回の **OB** ランが無事開催出来て良かったです。良い経験になりました。

同期のみんな、参加して下さいました、ありがとうございました。

■来年の幹事さんへ■

自分自身 **OB** ランには去年参加しただけですが、計画段階でかなり去年はこうだったから…と影響されました。来年あまりそのような思い込みに影響されないと思いますので、独自カラーの斬新なランに出来るのではないかと期待しています。

過去がどうだったかはあまり気にせず、自分たちが **OB** ランに新たな歴史を刻むのだという気持ちで頑張ってください！

【宮本賢吾】

OB ラン参加された方、おつかれさまでした！

大学を卒業して、こんなに大勢でちゃり部で集まる機会にはOBラン以外にはなくとても楽しい2日間でした。学生時代に戻った気持ちでした！

来年は参加者として参加したいと思っています。

来春の合宿もよろしくお祈りします！

【森口陽介】

久しぶりに会った方々や今回初めてお会いした方々、少しの時間ですが話が出来て楽しかったです。参加して下さった方々、本当にありがとうございました。企画、運営と頑張ってくれた同回生にも最大限の感謝を。

【柳原裕也】

2011年度OBラン主幹メンバーを努めさせて頂きました。予報では天候不順とのことでしたが、当日は好天に恵まれ幸いでした。

本年度OB総会ではOB会執行部の代替りが執り行われました。そのため、例年以上にサイクリング部の歴史を感じる事のできるOBランとなったように思います。また、木田夫妻のご子息、たけし君もOBランに初参加。未来のチャリ部員(?)、たけし君によりサイクリング部の未来も同時に感じる事が出来ました。

懇親会では懐かしい面々と飲んで皆変わらないなと安心しました。

一部の方にチャラくなったとか言われたのが心外でしたが(・ω・)

主幹としては、石井ちゃん、えいごを始めとした関西組のメンバーが当日の人員配置など決めておいてくれたお陰で、あまり下準備に貢献していなかった自分も動きやすくて助かりました。

チェックポイントに使う予定だった地点がマラソン大会のスタート地点になっているという事態もありましたが、皆うまく対応してくれたと思います。

何より、参加者の皆さんがリタイアすることなく走りきってくれたことが嬉しかったです。



H16年入学一同と下見宿のおっちゃん（写真は下見時）

